

【選択講習⑥】

平成 29 年 8 月 4 日（金）

発達障害のある児童・生徒への支援の具体的な方法

—学校でのアセスメント、対応を学ぶ—

（幼・小・中・高・特教員対象：定員 50 名）

時間	内容	担当者
9:20～9:30 (10分)	ガイダンス	野村 勝彦
9:30～10:40 (70分)	(1) 発達障害のある子どもの疑似体験と特性に関するアセスメント	野村 勝彦
	初めに、発達障害の基本的な特性について講義し、個々の持つ特性について簡易型のアセスメントを体験してもらう。次に、受講生の皆様に発達障害によって生じている、学習や生活上の困難や困り感がどのようなものか疑似体験を通して、障害理解とともに支援方法について考える。	
休憩 (10分)		
10:50～12:20 (90分)	(2) アセスメントに基づいた学習支援と合理的配慮について	野村 勝彦
	各種のアセスメント等から、発達障害のある子どもの状態像が浮かび上がってくるが、学習において子どもたちに適切で合理的な配慮とは、具体的にどう考え、実施する良いのか、模擬事例を通して小グループで討議する。	
12:20～12:40 (20分)	テスト	野村 勝彦
昼休み (50分)		
13:30～14:40 (70分)	(3) 児童・生徒が示す行動問題のアセスメント	高浜 浩二
	発達障害のある児童・生徒が学校場面で示す行動問題はさまざまである。一般的な対応では効果が見られず、なぜそのような行動をするのか理解に苦しむこともある。本講義では、個人を環境との相互作用から捉える応用行動分析学の観点から、行動問題を理解するためのアセスメント方法について、講義する。	
休憩 (10分)		
14:50～16:20 (90分)	(4) アセスメントに基づいた行動問題への対応	高浜 浩二
	(1) で示したアセスメント方法を基にして、具体的な対応方法をどのように考えていくかについて、講義および演習を行う。演習では、1つの事例について、アセスメントから対応方法の立案までのプロセスをグループ毎に実施してもらう。	
16:20～16:40 (20分)	テスト	高浜 浩二
16:40～16:50 (10分)	アンケート	高浜 浩二

【選択講習⑥】

平成 29 年 8 月 4 日（金）

発達障害のある児童・生徒への支援の具体的な方法

—学校でのアセスメント、対応を学ぶ—

（幼・小・中・高・特教員対象：定員 50 名）

時間	内容	担当者
9:20～9:30 (10分)	ガイダンス	たかはま こうじ 高浜 浩二
9:30～10:40 (70分)	(1)児童・生徒が示す行動問題のアセスメント	高浜 浩二
	発達障害のある児童・生徒が学校場面で示す行動問題はさまざまである。一般的な対応では効果が見られず、なぜそのような行動をするのか理解に苦しむこともある。本講義では、個人を環境との相互作用から捉える応用行動分析学の観点から、行動問題を理解するためのアセスメント方法について、講義する。	
休憩 (10分)		
10:50～12:20 (90分)	(2)アセスメントに基づいた行動問題への対応	高浜 浩二
	(1)で示したアセスメント方法を基にして、具体的な対応方法をどのように考えていくかについて、講義および演習を行う。演習では、1つの事例について、アセスメントから対応方法の立案までのプロセスをグループ毎に実施してもらう。	
12:20～12:40 (20分)	テスト	高浜 浩二
昼休み (50分)		
13:30～14:40 (70分)	(3)発達障害のある子どもの疑似体験と特性に関するアセスメント	のむら かつひこ 野村 勝彦
	初めに、発達障害の基本的な特性について講義し、個々の持つ特性について簡易型のアセスメントを体験してもらう。次に、受講生の皆様に発達障害によって生じている、学習や生活上の困難や困り感がどのようなものか疑似体験を通して、障害理解とともに支援方法について考える。	
休憩 (10分)		
14:50～16:20 (90分)	(4)アセスメントに基づいた学習支援と合理的配慮について	野村 勝彦
	各種のアセスメント等から、発達障害のある子どもの状態像が浮かび上がってくるが、学習において子どもたちに適切で合理的な配慮とは、具体的にどう考え、実施する良いのか、模擬事例を通して小集団で討議する。	
16:20～16:40 (20分)	テスト	野村 勝彦
16:40～16:50 (10分)	アンケート	野村 勝彦